

平成 30 年 10 月 1 日から平成 30 年 10 月 31 日に川崎医科大学附属病院小児科で入院し、治療を受けた方へ

課題名：当院における小児の気道由来塗抹標本の鏡検を通じて認められる細菌の種類と頻度の傾向の分析

当教室では川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、倫理委員会承認日から平成 31 年 3 月 31 日の間に、「当院における小児の気道由来塗抹標本の鏡検を通じて認められる細菌の種類と頻度の傾向の分析」の研究を行います。本研究は平成 30 年 10 月 1 日から平成 30 年 10 月 31 日までに川崎医科大学附属病院小児科に入院され、喀痰・咽頭の細菌の塗抹培養検査を受けた方の塗抹検査に用いられた試料(下述の「プレパラート」)を再度鏡検し、その特徴を解析します。研究に用いる試料は、塗抹検査に用いられた後に残されたプレパラートだけです(検査では、喀痰や咽頭を拭って得られた試料の一部はプレパラートと称されるガラス板に擦り付けた後に色素で染め、細菌の染まり方や形の特徴を評価し、治療の参考にしました)。また、個人情報は一切使用致しません。既存の試料を用いる研究のため、対象者の皆さんに新たに検査を依頼することはありません。また、対象者の皆さんに直接的な利益・不利益が生じることもありません。研究をするために必要な資金をスポンサー(製薬会社等)から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねないことを利益相反状態といいますが、本研究ではそのような資金は使用せず、学内の教室費等を使用し利益相反委員会に申請し適正に管理されています。

研究成果は学術集会や学術雑誌において発表する予定ですが、個人情報は一切使用されません。つきましては、プレパラートを使用しますことにご理解を頂けますようお願い申し上げます。上記の研究において、ご自身の試料が利用されることについてご同意いただけない場合には、研究対象としませんので、お手数ではございますが、平成 30 年 11 月 10 日までに下記までご一報下さいますようお願い致します。その場合でも、対象者に不利益が生じることはありません。その他、ご不明の点がございましたらお問い合わせ下さい。ご希望があれば他の対象者に支障がない範囲で計画書および関連資料を閲覧することもできますのでお申し出ください。

問い合わせ先：川崎医科大学小児科学 宮田一平

電子メール ippei@med.kawasaki-m.ac.jp

電話 086-462-1111 (内線 44132)

ファクシミリ 086-464-1038